

DXの第一歩： 業務データの蓄積と見える化

～ONESTRUNCTION社のACC活用事例～

オートデスク技術営業部/ONESTRUNCTION社
2023.11.29

免責事項

- 本プレゼンテーションには当社の将来の経営成績、業績、実績、ならびにその他、年次報告書および四半期報告書の指針についての将来予想に関する記述が含まれています。
- さらに本プレゼンテーションには当社の既存または新規の製品およびサービスのために計画されている、または将来の開発努力に関する将来予想に関する記述が含まれています。かかる発表は、業績、製品、サービス、または機能の将来的な提供を約束または保証することを意図するものではなく、単にその時点でのオートデスクの計画を反映するものであり、その時点で判明している要因に基づくものです。かかる計画または将来の開発取り組みは予告なく変更が生じる可能性があります。したがって、購入および投資に関して決定する際にかかる発表を抛り所としないでください。
- かかる記述は現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の経営陣による現状の予想、予測、仮定を反映したものであり、将来の業績を保証するものではありません。重大なリスク、不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の経営成績、業績、実績は、本プレゼンテーションの将来予想に関する記述で明示または暗示されたものと大きく異なる場合があります。
- 当社の将来の業績に影響を与える可能性のある要因（オートデスクならびに本プレゼンテーションの将来予想に関する記述に影響を与える可能性のあるリスク要因も含む）は、直近の会計年度末の年次報告書Form 10-K、ならびに四半期末の Form 10-Q に記載されており、これらは米国証券取引委員会に提出されています。本プレゼンテーションが作成日以降に修正され、その後オートデスクからやWeb サイトまたはその他の方法で入手可能になった場合、最新または正確な情報を反映していない場合があります。
- オートデスクは、かかる発表が行われた日以降に発生した出来事、もしくは存在または変化した状況を反映するために、かかる将来的な発表を更新する義務を負いません。

自己紹介

- 石川 翔平
- オートデスク株式会社 技術営業本部
 - 建設・土木ソリューションエンジニア / DXスペシャリスト
 - 主に建設業界向けクラウドソリューションを担当
- 経歴
 - 2002-2010 東京工業大学建築学科/建築学専攻
 - 2006-2007 スイス連邦工科大学 交換留学
 - 2010-2012 清水建設 設計本部
 - 2012-2019 webアプリケーション/IoT製品の開発
 - 2019- 現職



過去のDXウェビナー

2022



<https://youtu.be/2QuNyWwtFEo>



<https://youtu.be/TfQFcGhZdbA>



<https://youtu.be/jxLKfARpIdw>

2023



<https://bim-design.com/infra/online-seminar/ai-bim-cim/>



<https://bim-design.com/infra/online-seminar/acc-db/>



<https://bim-design.com/infra/online-seminar/bim-management/>

本日のテーマ：業務データの蓄積と見える化

- データを蓄積して見える化して活用する重要性が上がってきている
 - AU2023でもデータがテーマ
 - Autodesk Construction Cloud(ACC)もデータを貯めるプラットフォームとして利用できる
 - けどそもそも「データを見える化して活用」って何？
- **ONESTRUCITION社 宮内さんの取り組みの紹介**
 - CTOの立場として、業務状況の把握が必要
 - ACCに各自の業務をレポートしてもらうことで、ダッシュボードを作成



ONESTRUCITION社
宮内 芳維氏

情報の見える化とは...

ダッシュボード

を作成すること

The logo for AU 2023, featuring a stylized white 'A' icon followed by the text 'AU 2023' in a large, white, sans-serif font. The background is a dark blue-tinted photograph of a large conference hall with a high, industrial-style ceiling and a large audience seated in the foreground.

AU 2023

THE DESIGN & MAKE CONFERENCE

AU 2023のアーカイブが公開されています(594件)

AUTODESK

AUTODESK UNIVERSITY AU 2023 Overview

Watch AU 2023

AU 2023 General Session Day 1

Catch up on Autodesk news and announcements from Autodesk leaders and customers at AU 2023 General Session Day 1.

Watch now

Watch AU 2023 Industry Forums

Learn how Autodesk's Design & Make Platform is transforming AEC, design and manufacturing, media, construction, and engineering.

AU 2023 Year-Round Learning

Gain new skills and explore bold ideas with on-demand sessions, classes, and Theater Talks led by industry and product experts.

Feedback

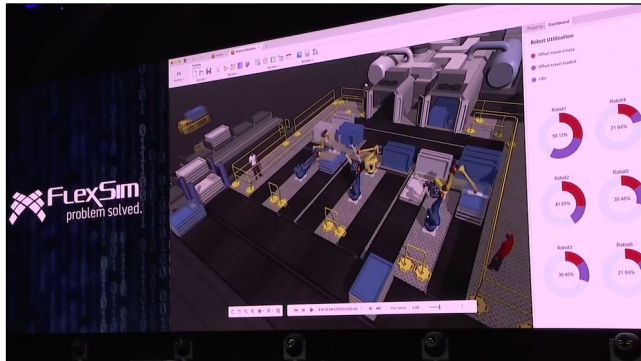
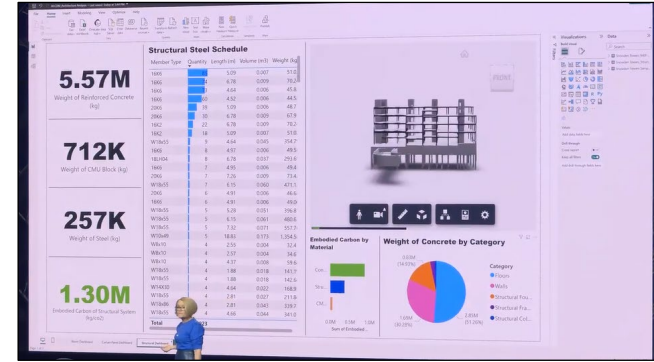
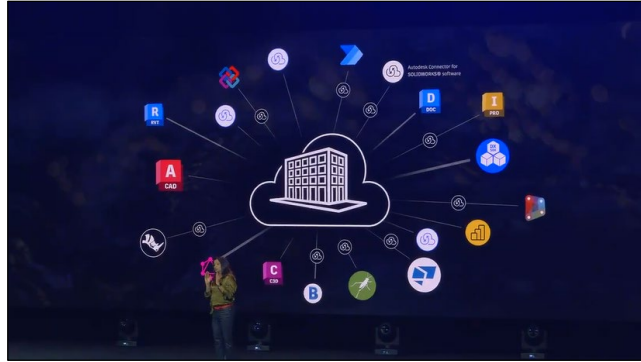
Join the community

Connect with Autodesk Community programs that will help you solve problems, share expertise, and more.

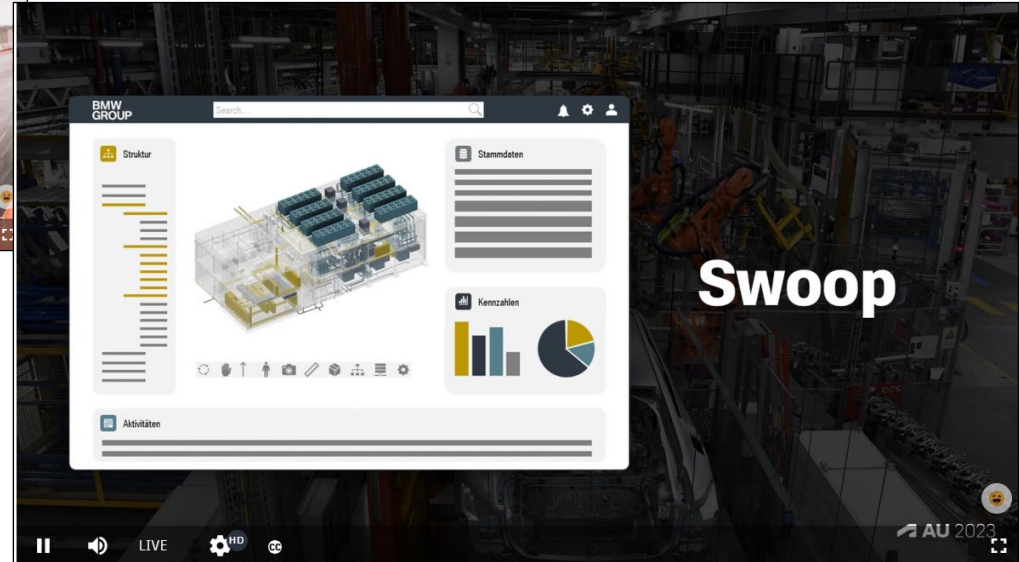
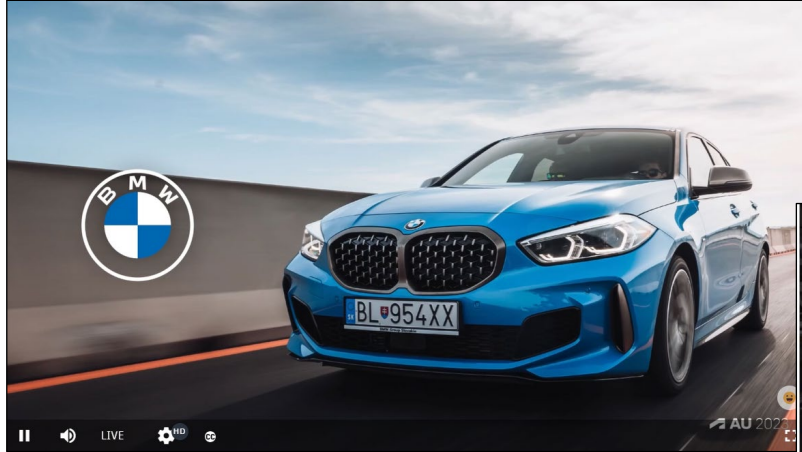
Stay connected

Follow updates on AU 2023. Read the blog.

General Session 1 [Autodesk]

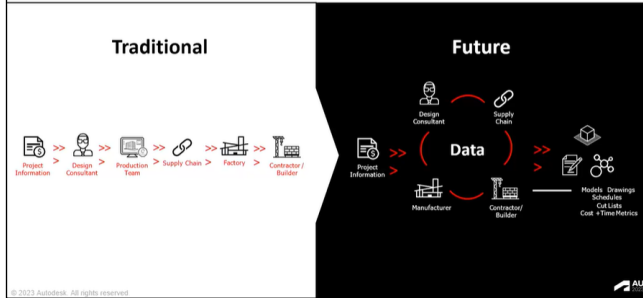


Autodesk Platform Services Industry Forum [Autodesk]



Validation of DfMA and Data Platform in Data Strategy Beyond BIM and Its Future[大和ハウス]

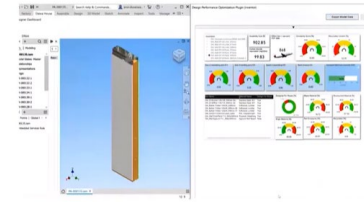
1) Concurrent Decision-making



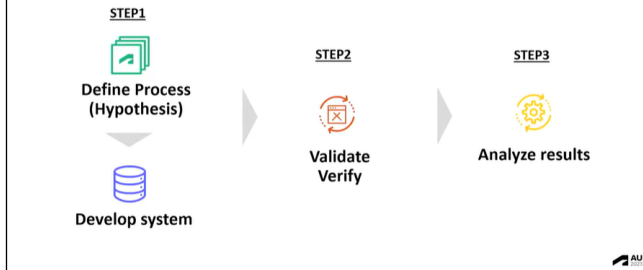
Process-2) Product Evaluation

Inventor Dashboard

- Extract Model data
- Check Performance w/KPI
- Design Decision



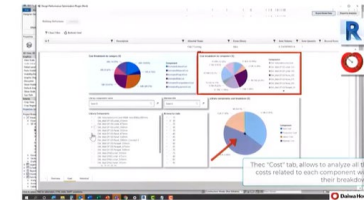
Validation & Verification Steps



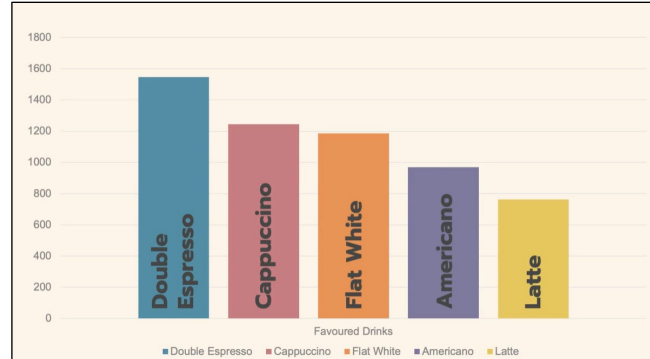
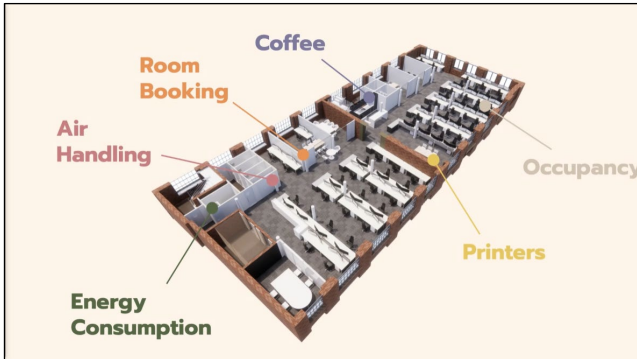
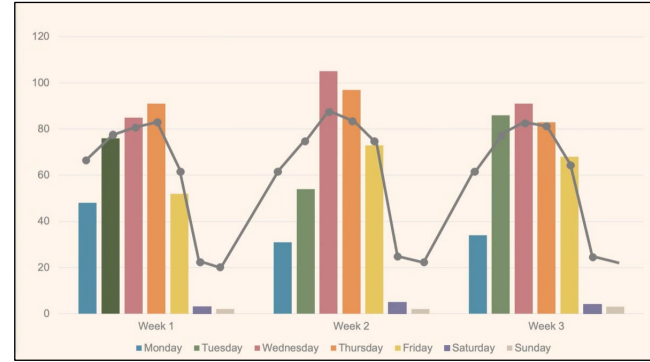
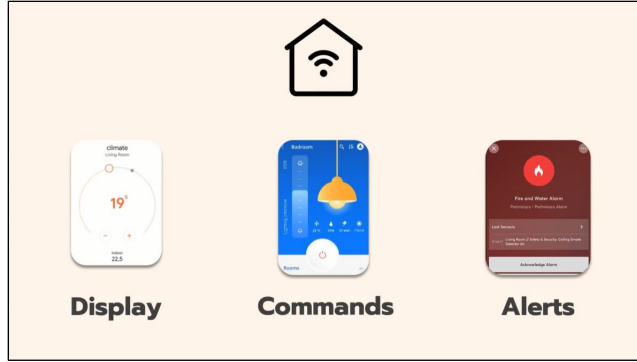
Process-4) Building Evaluation

Revit Dashboard

- Extract model data
- Check Performance w/KPI
- Record evaluation history
- Decision-making by stakeholders



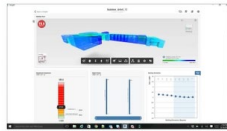
Data and Digital Twins [TP Bennet]



BIM for historical buildings in the UK focused using sustainability tools [Purcell]

Data and decisions

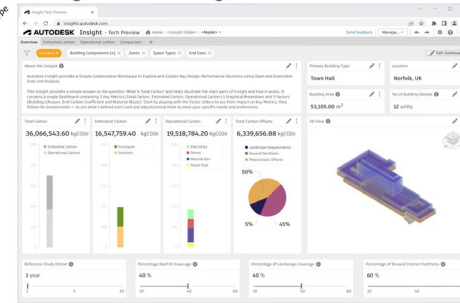
- Would a live data linked model allow for better decisions and therefore better designs?



AU

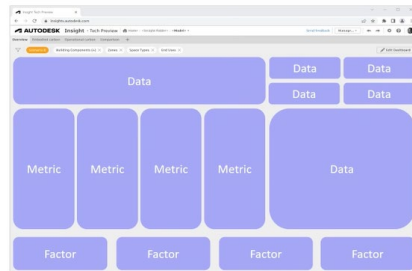
From Insights to Design Decisions

Prototype



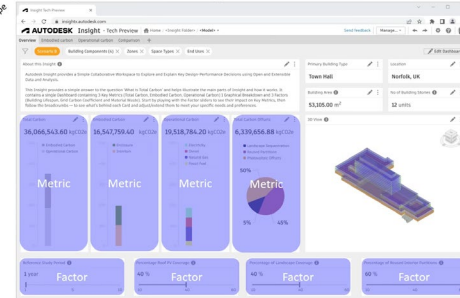
Learn more at AU

From Outputs to Insights



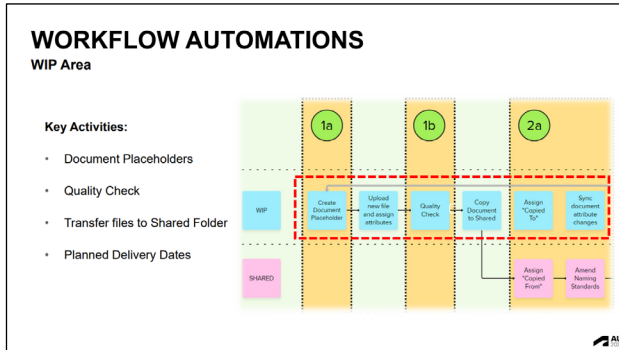
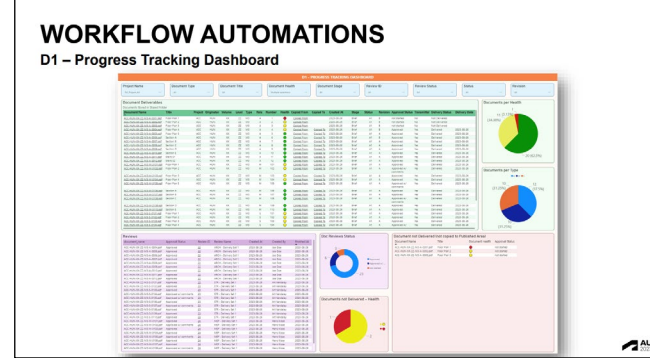
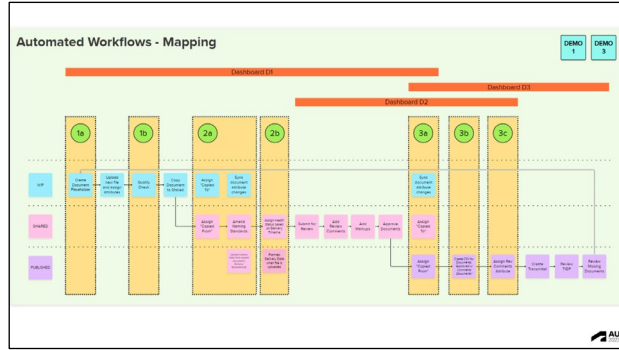
From Insights to Design Decisions

Prototype



Learn more at AU

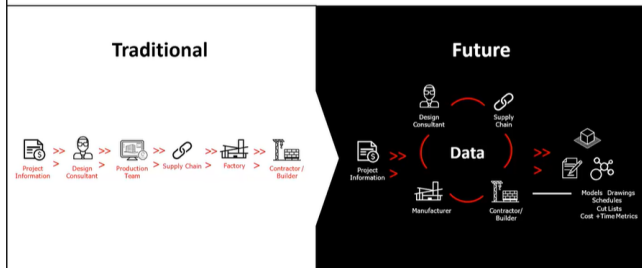
Simplify Your Life with Autodesk Construction Cloud Workflow Automation [Autodesk]



Keyword is “Decisions Making”.

Construction Industry Forum [Autodesk]

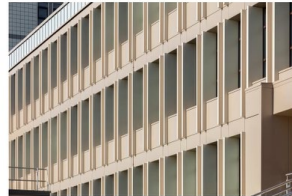
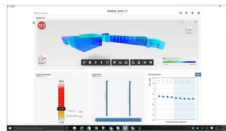
1) Concurrent Decision-making



© 2023 Autodesk. All rights reserved.

Data and decisions

- Would a live data linked model allow for better decisions and therefore better designs?



AU

The best decisions
are made with data.

重要なのは

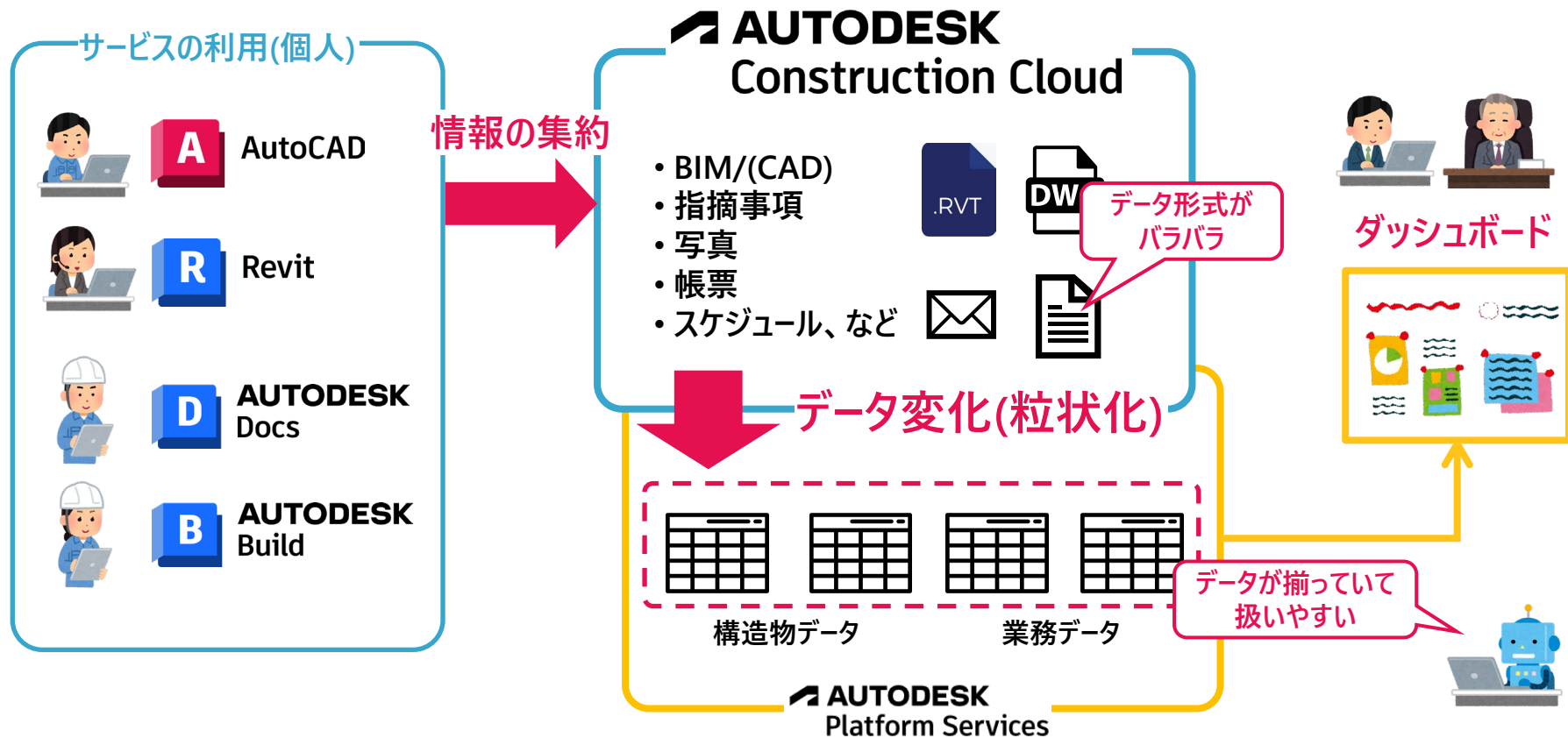
ダッシュボードは
意思決定に活用 すること

宮内くんのセッションへ→

質疑応答/宮内くんに聞きたいこと

- 質問がある人はQ&Aに記載ください
- 宮内くんに聞きたいこと
 - 実際にダッシュボードを作って運用してみた感想。
 - BIM/CIMデータのダッシュボード化は考えてますか？
 - AUで面白いセッションありましたか？
 - 最近注目してる技術は？ AIとか取り組んでいますか？

[ACC&APS]業務のデータを集約し、情報を等価に変換する



業務データの蓄積と見える化 まとめ

1 ダッシュボードがトレンド

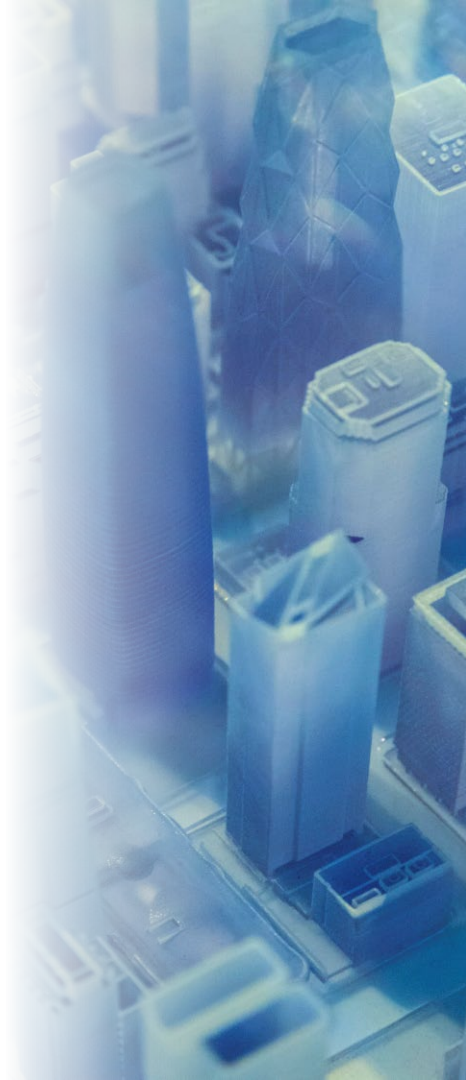
ACCにデータを入力し、データを取り出し、ダッシュボードを作成

2 「データによる意思決定」が目的

ダッシュボードの目的を事前に明確にしておくとい

3 業務フロー全体を考える

ダッシュボードを作成するにはデータの入力が必須
現状の業務フローにおけるデータ入力の可能性を押さえる



次回のセミナー：AU2023から読み解く建設DXの現在地

開催概要



AU2023から読み解く建設DXの現在地

今すぐ登録

既に登録済み？

2023 年 12 月 12 日 (火) 11:00~12:00

今年も11月に開催されたAutodesk University 2023（AU2023）では、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界各国からの建設DXに関する最新の取り組みが紹介されました。またオートデスク社からも「Autodesk AI」をはじめとする多くの革新的な発表が行われました。特にクラウドサービスなど新しいサービスの利用が新型コロナウイルス感染症の影響などで加速したことで、労働環境のデジタル化はおおきく進みました。このセミナーでは、AU2023での重要な発表、欧米企業の事例、そしてAutodeskが展開する「Autodesk AI」やプラットフォームの将来ビジョンを掘り下げてご紹介いたします。

<こんな方におすすめ>

以下のいずれかにあてはまる方は、建設業に関わらず是非ご参加ください。

- ・ DX推進の役割を担う方
- ・ DXにおいてデータベースや情報活用がどのように重要となるか理解したい方
- ・ オートデスクのプラットフォーム戦略に興味のある方

<講師>

オートデスク株式会社 技術営業本部 建設・土木ソリューションエンジニア / DXスペシャリスト 石川 翔平

登壇予定：第46回 情報シンポ AIJISA 2023 (建築学会)



- DAY2 pm「建築・都市とAI活用の未来」
 - 日時--12月8日 (金) 15:00～17:30 (予定)
 - (A) AIと人間をつなぐBIM
 - 講師-石川翔平氏 (オートデスク(株)日本地域営業部技術営業本部)
 - (B) 不気味の谷に留まる
 - 講師-平野利樹氏 (東京大学特任講師)
 - (C) BIMデータベースとLLM (大規模言語モデル) AIの今後
 - 講師-中野達也氏 ((株)長谷エコーポレーションエンジニアリング事業部 DX推進室)

過去のDXウェビナー

2022



<https://youtu.be/2QuNyWwtFEo>



<https://youtu.be/TfQFcGhZdbA>



<https://youtu.be/jxLKfARpldw>

2023



<https://bim-design.com/infra/online-seminar/ai-bim-cim/>



<https://bim-design.com/infra/online-seminar/acc-db/>



<https://bim-design.com/infra/online-seminar/bim-management/>

今後のイベント・セミナー案内：BIM design

**AUTODESK**

オートデスクのBIMソリューション
詳しくはこちら

Architecture, Engineering
& Construction Collection

建築向け | 土木・インフラ向け

BIM design 土木・インフラ向け

I-Construction ユーザー事例 製品紹介 イベント・セミナー案内 ムービー トレーニング BIM/CIMパートナー

土木・インフラ向け Home > イベント・セミナー案内

イベント・セミナー案内

これから開催予定のイベント・セミナー



BIM/CIM属性管理ツール「Navismanager」1周年記念ウェビナー

開催日時
2023年6月28日(水) 13時30分～14時30分

1. 令和5年度BIM/CIM実務研修の読み解き
2. Navismanagerクラウド連携のご案内
Cloud 3Dデータ連携機能など

好評受付中！

Webセミナー
6月30日開催！
参加無料

BIM/CIM LIVE!!

開催日時
2023年06月30日(金) 13:00～18:00(仮)

BIM/CIM LIVE 第13回



BIM/CIM 土木実践講座

2023 7.6 thu

大塚商会主催：Dynamo中級編、土木向け3ds Max オンラインセミナー

1. Dynamo (土木) 中級編

開催日時
2023年7月6日(木) 13:00～13:45
(締め切り日：2023年7月4日(火) 13:00まで)

開催場所
オンライン (全国どこでも参加可能)
配信環境：Zoom

2. 土木で使う「3ds Max」ワンランク上のビジュアライゼーション

開催日時
2023年7月6日(木) 14:20～15:05
(締め切り日：2023年7月4日(火) 13:00まで)

開催場所
オンライン (全国どこでも参加可能)

※アンケートで頂いた質問への回答も公開されています

The screenshot shows the Autodesk BIM design website. The header includes the Autodesk logo, 'BIM design 土木・インフラ向け', and a navigation bar with links like 'i-Construction', 'ユーザー事例', '製品紹介', 'イベント・セミナー案内', 'ムービー', 'トレーニング', and 'BIM/CIM/パートナー'. The main content area features a video player titled 'Autodesk Construction Cloudとデータベース ~AIを活用するためのデータ蓄積~ (オンライン)'. The video player has a play button and a red 'YouTube' logo. To the right of the video player, there are two blue buttons: '資料のダウンロード' and 'ご質問と回答'. A red callout box points to the 'ご質問と回答' button with the text '質問への回答'. Below the video player, there is a paragraph of text in Japanese.

Autodesk Construction Cloudとデータベース ~AIを活用するためのデータ蓄積~ (オンライン)

Autodesk Construction Cloudとデータベース
~AIを活用するためのデータ蓄積~

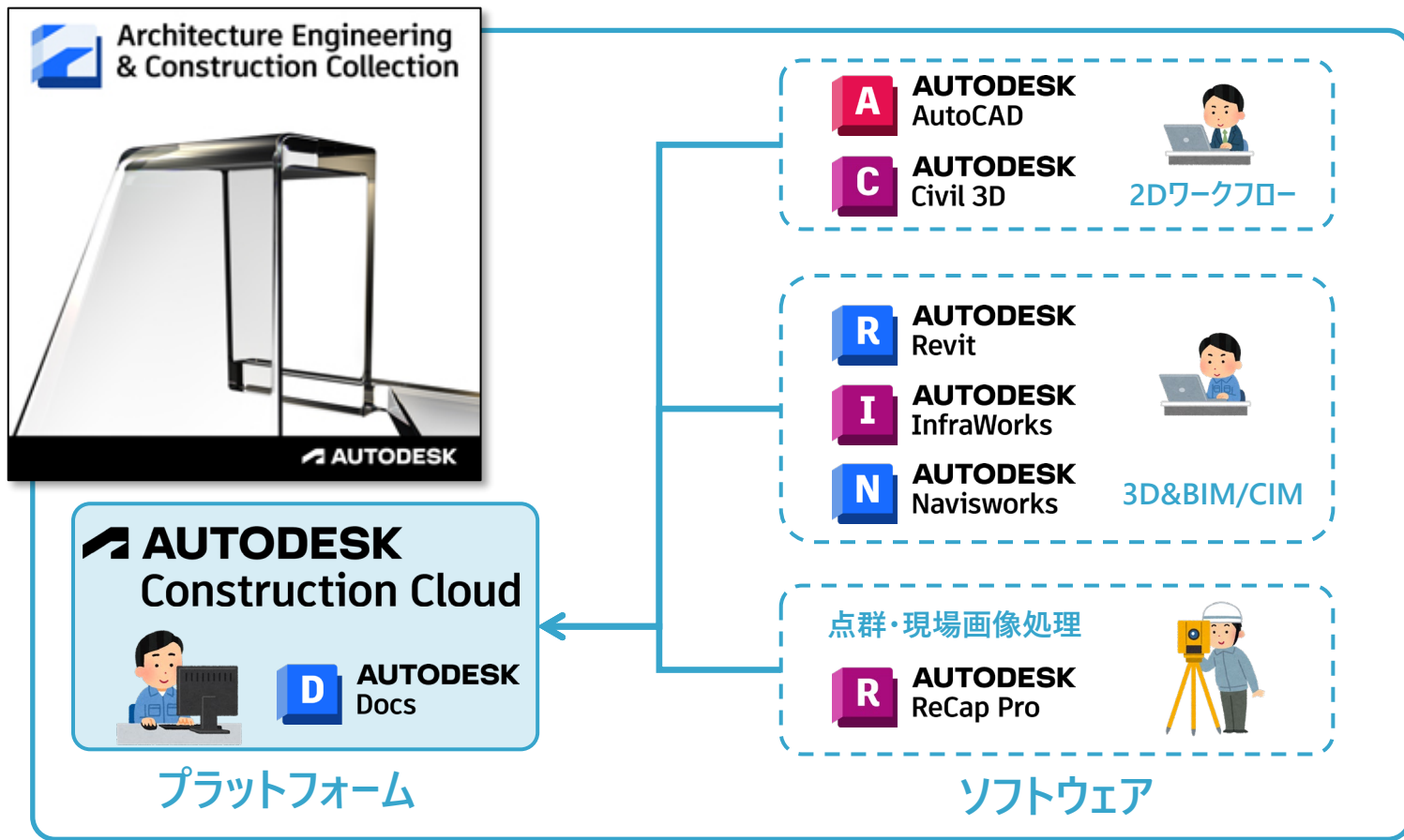
オートデスク技術営業部
2023.06.21
見る YouTube

前回のセミナー「AIを活用するためのBIM/CIM」では、AIを活用するためにデータベースに情報を蓄積することの重要性をお話させて頂きました。その「情報の蓄積」に利用できるサービスがAutodesk Construction Cloud(ACC)です。ACCは、dwgやrvtといったデータファイルを格納するストレージ機能以外にも、指摘事項やアセットといった様々なデータ管理機能があり、サービスを利用するだけで非常に多くの情報が蓄積されます。

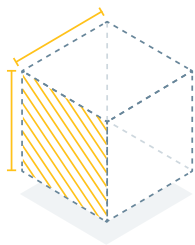
今回のセミナーでは、ACCの各機能からACC内に蓄積されるデータについて解説しつつ、各データを取り出してPowerBIなどのBIツールにて活用する手順を紹介します。

質問への回答

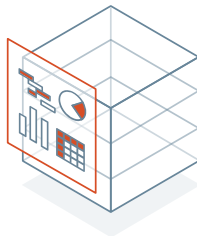
AECコレクション：ソフトウェアからプラットフォームまで「1パッケージ」で



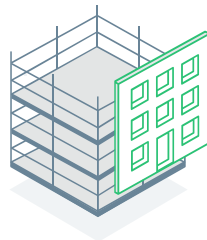
AUTODESK Construction Cloud



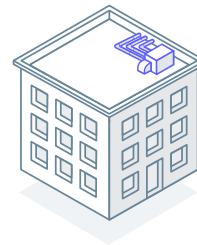
基本設計



実施設計



施工



維持管理・運営



AUTODESK
Docs

[共通データ環境]



AUTODESK
BIM Collaborate

[BIMモデル管理]



AUTODESK
Takeoff

[数量拾い・集計]



AUTODESK
Build

[施工管理]

